

第十三回 神戸能

◆ 令和3年3月21日(日)
午後1時開演(午後12時開場)
◆ 神戸文化ホール 中ホール

能 清経

替之型

笠田昭雄

狂言 骨皮

善竹忠亮

能 一角仙人

吉井基晴



©ウシマド写真工房

主催 / 公益社団法人 能楽協会
共催 / 公益財団法人 神戸市民文化振興財団 神戸文化ホール
全席自由席 **税込 4,700円** (U25 25歳以下) **1,800円**

※U25チケットは神戸文化ホールプレイガイド窓口または、神戸文化ホール
オンラインチケットサービスのみの取り扱いです。要年齢証明。
※未就学児童の入場はご遠慮ください。

プレイベント「第十三回 神戸能 体験講座」

日程：2021年2月23日(火・祝)
場所：神戸文化ホール練習室1
時間：①10:00 ②14:00 (30分前より受付スタート)
参加料：500円 (本公演のチケットの提示で参加無料)
定員：各回25名 参加申込開始：2021年1月14日(木)

※プレイベント参加の方は、必ず事前予約をお願いします。
※神戸文化ホールHP内の予約フォームからお申し込みください。



▲予約フォーム

チケット発売日
文化ホール友の会先行発売：
2021年1月7日(木)10:00～
一般発売：2021年1月14日(木)10:00～

■ チケット 発売
神戸文化ホール プレイガイド ☎078-351-3349
神戸文化ホールオンラインチケットサービス
(<https://www.kobe-bunka.jp/hall/>)
チケットぴあ (Pコード：503-902) ☎0570-02-9999
ローソンチケット(Lコード：53882) <https://l-tike.com/>

■ 交通…神戸市営地下鉄「大倉山駅」下車すぐ、
JR「神戸駅」・神戸高速鉄道
「高速神戸駅」下車約10分
■ 問い合わせ先…神戸文化ホールプレイガイド
☎078-351-3349

第十三回 神戸能

2021年3月21日(日)午後1時開演(午後12時開場)

解説 上田 拓司

能 「清経」 替之型

平清経	笠田 昭雄	後見	下川 宜長
清経ノ妻	藤井 丈雄		上田 大介
淡津三郎	広谷 和夫	地謡	藤井 完治
			笠田 稔
笛	野口 亮		橋 保向
小鼓	古田 知英		山田 義高
大鼓	山本 哲也		林本 大果
			高橋 宗照
			上田 宜樹
			笠田 祐樹

狂言 「骨皮」

新発知	善竹 忠亮	後見	尾鍋 智史
住持	善竹 忠重		
傘借り	岡村 和彦		
馬借り	小林 維毅		
齋呼び	牟田 素之		

休憩

能 「一角仙人」

一角仙人	吉井 基晴	後見	上田 拓司
旋蛇夫人	藤谷 音彌		田中 章文
龍神	吉井 紹智		佐伯 紀久子
龍神	吉井 晟朝		
官人	江崎 正左衛門	地謡	上田 貴弘
與昇	江崎 欽次朗		山村 啓雄
與昇	松本 義昭		勝部 延和
			上田 大介
笛	八木原 周平		水田 雄晤
小鼓	高橋 奈王子		梅谷 宏
大鼓	大村 滋二		上田 顕崇
太鼓	梶谷 義男		池内 頼子

能 清経 替之型

家臣の淡津三郎(ワキ)が、入水した平清経の形見の黒髪を届ける為、都にいる清経の妻(ツレ)のもとへやってきます。夫の帰りを待っていた妻は、夫が入水したことを知らされ悲しみます。また、再会の約束をして戦場へ行った夫が、討死や病死ではなく、自ら死を選んだことを怨めしく思い、届けられた形見を返してしまいます。その夜、妻の夢枕に清経の霊(シテ)が現れて、死を決意するに至った経緯や、舟の上で笛を吹き朗詠し入水した最期を物語ります。修羅道の戦いの苦しみを訴えますが、最期に唱えた念仏の功德により救われる身となったことを明かし、消えてゆくのでした。



©ウシマド写真工房

狂言 骨皮

住持より寺を譲られることになった新発知は、住持より旦那あしらいが大事であると聞いて傘を借りに来た旦那に新品の傘を貸してしまう。「そのような時は、先日強風にあつて骨は骨、皮は皮」と破損していると口実を設けて断るようになめられる。やがて別の旦那が馬を借りに来るが、新発知は教えられたばかりの、傘の口実を言って追い返してしまう。呆れた住持は別の口実を教えるが、齋(僧を招いて食事でもてなすこと)に呼びに来た旦那に馬の口実を言ってしまう。怒った住持と口論になるが・・・落語にも移された取り違え劇。

能 一角仙人

天竺 波羅奈国に住む一角仙人(シテ)は、勢力争いの末、龍神たちを岩屋に封印してしまいました。以後国土には雨が降らなくなり、困った帝は龍神たちを解放すべく、美しい旋陀夫人(ツレ)を、道に迷った旅人だと偽り仙人のもとへ派遣します。その美貌に見とれた仙人は、一行に勧められるまま酒を口に、誘惑する夫人につられて舞を舞うと、酔い潰れ神通力を奪われます。



©ウシマド写真工房

やがて岩屋が鳴動し、封印されていた龍神たち(子方)が飛び出します。驚いて目を覚ました仙人は、再び龍神たちを封じ込めようと戦いを挑みますが、既に神通力を失っていた仙人は倒れ伏し、ついには敗れてしまうのでした。

■お客様へのお願い

本公演・イベントは、新型コロナウイルス感染症対策を講じて開催いたします。チケットご購入・ご来館の前に、神戸文化 HP 内の「お客様へのお願い」を必ずご確認ください。



◀神戸文化ホール ホームページ

神戸文化ホール

